

## 1. 研究室概要

大学名	首都大学東京 大学院		研究者	伊藤 祐子
			職位	准教授
研究領域	発達障害の作業療法		窓口担当	産学公連携センター 草間 茂
研究キーワード	発達障害、評価・支援、おもちゃ、遊具、特別支援教育			
住所	〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10			
電話	042-677-2759	E-mail	kusama-shigeru@mj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	http://www.tmu.ac.jp/academics/faculty/hs/sagy.html	

## 2. 技術PR事項

### 『発達障がい児の作業療法を支援します』

脳性マヒ等による肢体不自由や、知的障害、種々の先天性疾患、重症心身障害、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害など、多岐にわたる疾患・障害により、生活に支障を来す子どもたちを支援しています。

#### 1. 概要

学校教育の場で個別に支援プログラムのアドバイスを行ったり、学習環境を調整したりするなど、作業療法士の神経発達学的視点と技術を効果的に活かした活動ができるよう研究を行っています。

##### <研究内容>

- ◇ペンタブレットを使用して筆記時の筆圧、速度、誤差などを分析し、視覚と上肢の協調運動評価をするなど、巧緻動作に対する作業療法の評価・支援システムを開発しています(図1)。
- ◇感覚統合訓練器具である「ホーススウィング」をコンピュータで制御し、3次元動作解析装置を使って子どもの姿勢反応を分析・評価し感覚統合療法の効果を検証する評価・支援システムを開発しました(図2)。
- ◇ペットボトルを連結するコネクタで、手軽視覚、聴覚、触覚等の感覚を刺激し、モチベーションを引き出す遊具を作ることができました(図3)。

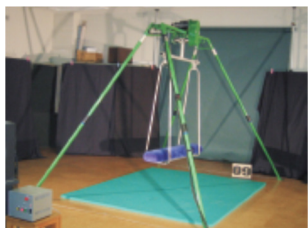


図1. 作業療法の評価・支援システム 図2. 電動ホーススウィングシステム 図3. トウインクルリンク

#### 2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

◆発達障害児の生活支援、感覚統合療法、遊具・おもちゃ開発等、共同開発やご相談に応じます。

##### 連携内容

- ・遊具、おもちゃ、生活支援道具の開発
- ・発達障害児・者の身体運動機能の評価および支援に関する機器の開発

##### 相談分野

発達障害児の生活支援、感覚統合療法、遊具・おもちゃ開発、保育園、幼稚園、学校環境の調整など

## 3. 特記事項

- 代表論文:伊藤祐子, 井上 薫, 三浦香織, 山田 孝, 品川俊人, 米田隆志:発達障害児の平衡反応に対する評価・支援システムの開発ー感覚統合の視点からー, 日本保健科学学会誌, Vol.9, No.3, pp.164-169, 2006.